

昭和大学新聞

学校法人 昭和大学

発行人 小口勝司
電話 (3784) 8000 〒142-8555
東京都品川区旗の台1の5の8
1部50円 毎月1回発行

6月号の内容

- 1面
 - 森村学園中等部・高等部と特別協定校として協定を締結
 - ウィーン医科大学と歯学部間協定を締結
 - eICU導入実証研究の成果報告会を開催
 - スクールバスラッピングお披露目式
- 2面
 - 第1回昭和大学包括協定大学連絡協議会
 - 平成29年度私立大学等経常費補助金交付状況
 - 本学アスリート職員が近畿小中学校で平昌オリンピック報告会を開催
 - 医学部附属看護専門学校戴帽式
 - 東日本大震災被災地入学者のための奨学金授与式開催
- 3面
 - 加藤京一教授がコメディカル賞を受賞
 - 世界トリアスロン横浜大会にメディカルスタッフ派遣
 - 薬学部卒業生の進路状況
 - 薬学部生が日本薬学会で学生優秀発表者賞を受賞
 - 薬学部卒業生の進路状況
- 4面
 - 創立90周年記念式典・祝賀会のお知らせ
 - 学生会シンポジウムのお知らせ
 - 学生相談室のご案内
 - 昭和大学職員サークル紹介
 - 就任のお知らせ
 - 昭和大学サポート寄付制度
 - 上條記念館座席プレート申込み状況

【問合せ先】

【本紙について：総務課出版・フォト係】
03-3784-8059
press@ofc.showa-u.ac.jp
【各種募金・寄付・90周年事業について：企画課】
03-3784-8387
【学事について：学務課、大学院・卒業教育課、入学支援課】
03-3784-8022 (旗の台)
0555-22-4403 (富士吉田)
045-985-6503 (横浜)
03-3784-8026 (入学支援課)

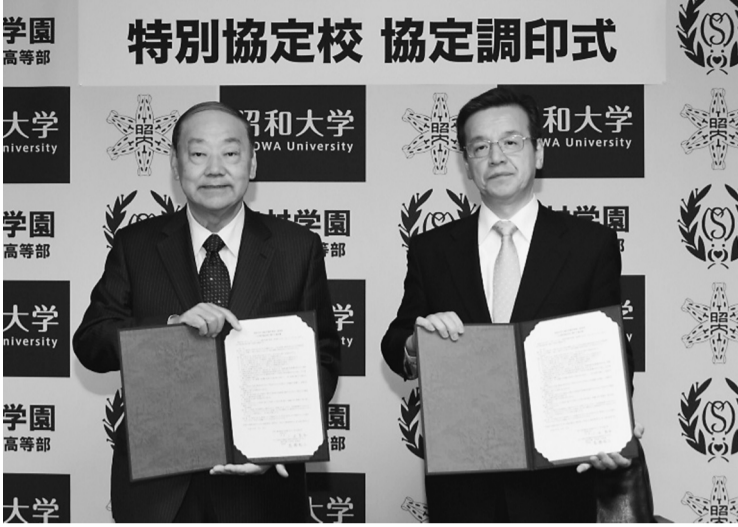
森村学園中等部・高等部と

特別協定校として協定を締結

本学は森村学園中等部・高等部（神奈川県横浜市緑区）と、特別協定校として協定を締結した。調印式は5月9日、旗の台キャンパスで行われ、小出良平学長と森村学園中等部・高等部の高橋敬三校長が協定書に署名した。

今後は高大連携の実現を図るため、大学教育への理解を促すプログラムの提供

や高校の正課授業、課外授業などに対する支援のほか、大学と高校間におけるさまざまな相互交流を実施する。また、本学の建学の精神「至誠一貫」と森村学園中等部・高等部の校訓「正直・親切・勤勉」には共通するものがあり、本学の掲げる理念に共感できる生徒を特別な入学試験制度で選抜するなど連携を図っていく。



小出良平学長(左)と森村学園中等部・高等部の高橋敬三校長(右)

- 【連携内容】
- 1 大学教育の一端を理解するプログラムの提供を行うこと
 - 2 高校の正課授業、課外授業等に対する支援を行うこと
 - 3 双方に有益なものと判断される教育活動を展開していくこと
 - 4 高校から昭和大学への受験希望者に対して、特別な入学試験制度を適用すること
 - 5 その他、相互に交流と協力を図ることで理解を深めること

e-ICU導入の記者発表会 フィリップス社と共同

本学が2017年2月に日本貿易振興機構（JETRO）の支援事業に基づき、フィリップス社と共同で導入した「遠隔集中治療プログラム（e-ICU）」の構築・稼働についての記者発表会が5月28日、昭和大学病院で開催された。

e-ICUは複数病院の集中治療室（ICU）を支援センターとネットワークでつなぎ、それぞれのICU患者の状態・データを支援センターの医師や看護師がモニタリングするシステム。世界ではすでに50施設以上で導入されており、アジアでは昭和大学病院と昭和大学江東豊洲病院で初めて導入された。e-ICUを導入することで専門医不足の解消やICU利用効率の向上、質の高い安全な医療の提供に地域医療連携の促進などが

が見込まれており、米国ではICU入院患者の退室までの期間を20%短縮する研究結果も出ている。

報告会では多くの報道関係者が訪れる中、昭和大学病院副院長兼e-ICU室長の大嶽浩司教授と昭和大学小谷透准教授がe-ICUの概要や具体的な取り組みについて説明し、「本学は創立者の言葉である至誠一貫、真心を持って患者に尽くせる臨床医家を養成することが校是となっている。現場を基にして地域に対し利益を還元するような産官学三位一体の共同研究はまさにふさわしい研究ではないか」と思っている」と述べた。

また、現場視察も行われe-ICUの有効性を集まった関係者に説明した。



(左) 昭和大学 小口勝司理事長
(右) 株式会社フィリップス・ジャパン 堤浩幸代表取締役社長

ウィーン医科大学と

歯学部間協定を締結

本学歯学部はウィーン医科大学歯学部と学部間協定を締結した。調印式は3月15日、オーストリアのウィーンにある同大学キャンパスで行われ、本学から国際交流センターの橋本みゆき教授と平泉由香講師が出席した。

本学とウィーン医科大学医学部とは2005年9月に医学部間協定を締結しており、現在までにウィーン医科大学から27人の学生を受け入れ、本学からは25人を送り出して学生の相互交流を実施している。



今後は大学間の連携をより緊密にし、歯学部間においても学生の相互交流や共同研究など活発な交流が期待される。

多摩美術大学と昭和大学の学生がバスをデザイン

多摩美術大学と本学学生のコラボレーションにより、本学横浜キャンパスで運行されているスクールバスのラッピングデザインを行い、その完成披露会を3月28日、同キャンパスで開催した。

本学と多摩美術大学は2016年10月に包括連携協定を締結しており、このラッピングデザインはその連携活動の一環。多摩美術大学の美術学部グラフィックデザイン学科の学生と本学保健医療学部の学生とでデザインコンペを開催し、吉田の自然、天然水から「水をモチーフにデザイン」。

き、多摩美術大学の学生らがプレゼンテーションを行って、最終的に横浜キャンパスの学生と教員の投票で今回のデザインが決定した。新しくラッピングされたスクールバスは、「まごころ号」と「せせらぎ号」の2台。「まごころ号」は、協調性、思いやりを大切にしているという昭和大学の学生の意見から「支え合う」をテーマにデザイン。

「せせらぎ号」は、富士吉田の自然、天然水から「水」をモチーフにデザイン。

式典では除幕式を執り行ったほか、保健医療学部の学生と下司映一学部長から、多摩美術大学の学生と教員に感謝状を贈り、関係者一同でスクールバスに乗車した。

まごころ号をデザインした多摩美術大学の藤井南さんは完成したスクールバスを見て

「今まで作った作品の中で一番大きく圧倒されました。外部の方と打ち合わせをしながら作業するのは初めてのこと、お互いの考えを組み合わせるデザイン



(左) まごころ号 (右) せせらぎ号

医学堂書店

品川区 旗の台
電話(03) 3783-9774

MIZUHO みずほ銀行

住宅ローンを見直してみませんか？
◆住宅ローンのお借り換えには、3つの目安があります。 毎月第2土曜日 休日相談会開催中

1. 現在お借入中の住宅ローンの残高が1,000万円以上ある方
2. 現在お借入中の住宅ローンと、お借換後の金利差が年率1.0%以上ある方
3. 現在お借入中の住宅ローンの、のこりの返済期間が10年以上ある方

お借り換えにより、毎月のご返済額を軽減できる場合があります。

*上記は一般的な目安ですので、現在お借入中の金利条件（引き下げ条件）によっては借り換えのメリットがない場合がございます。また、住宅ローンのお借り換えにより、住宅ローン控除の適用を受けられなくなることがございます。
*当行でお借入中の住宅ローンをお借り換えすることはできません。
*くわしくは、店頭またはみずほ銀行ホームページ【https://www.mizuohobank.co.jp/】まで。
*資産運用その他の取引を住宅ローンお借り入れの条件とすることはございません。

【お問い合わせ先】みずほ銀行 荏原支店 TEL: 03-3783-6111
【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:00 (12/31～1/3、祝日、振替休日を除きます)